

経済俱楽部「春の事業所見学会」のご案内

恒例の春の事業所見学会は、遠出をいたします。世界遺産暫定リストに登録された史跡富岡製糸場、榛東村にあるメガソーラー発電所という新旧事業施設を見学に群馬県に参ります。

*開催日 5月14日(火) 8時出発 18時帰着

*見学地 ・史跡・重要文化財 旧富岡製糸場
・八州高原・ソフトバンク榛東ソーラーパーク

◇ 申込み受付：4月24日(水)10時開始 参加ご希望の方は電話・FAXにて連絡をお願いします
tel 03-3270-0681 fax 03-3270-0987

◆富岡製糸場は明治5(1872)年、明治政府が日本の近代化のために最初に設置した模範器械製糸場です。歴史の教科書に記載されていた赤レンガの模範工場がよく整備されていて、往時の絹産業の姿を見るすることができます。繰糸場は長さ約140.4メートル、幅12.3メートル、高さ12.1メートルで、当時、世界的にみても最大規模でした。繭を生糸にする繰糸工場には300人取りの繰糸器が置かれ、全国から集まった工女たちの手によって本格的な器械製糸が始まりました。官営工場の払い下げの主旨により、1893年に三井家に払い下げされました。その後、1902年には原合名会社に譲渡され、1938年には株式会社富岡製糸所として独立しましたが、1939年に日本最大の製糸会社であった片倉製糸紡績(現・片倉工業)に合併されました。その後、長く製糸工場として活躍しましたが、生糸値段の低迷などによって1987年3月ついにその操業を停止しました。その後も場内のほとんどの建物は大切に保存されています。

◆標高1000メートルの八州高原(北群馬郡榛東村)にあるソフトバンク榛東ソーラーパークは、孫正義社長率いるSBエナジーの経営。再生可能エネルギーの全量買い取り制度が開始された昨年2012年7月1日に稼働しました。敷地面積3万6000平方メートル、出力規模約2.4MWで、年間発電量は約268万kWh/年(一般家庭約740世帯分の年間電力消費量)。パネル1万枚強、シャープ製。SBエナジーでは京都と並ぶ最初のメガソーラー発電所です。

○東洋経済ビル前を大型貸し切りバスで出発した後、首都高から上信越道に入り、富岡ICから目的地の旧製糸場に向かいます。午前は絹業文化遺産の官営模範工場施設などを見学。

史跡富岡製糸場 群馬県富岡市富岡1-1 tel 0274-64-3181

○見学後、近隣のこんにゃくとねぎの町で昼食。

下仁田こんにゃく観光センター 下仁田町東野牧224-5 tel 0274-82-5411

こんにゃく料理を中心にうどんや揚げ物を付け加えた盛りだくさんな御膳をご賞味いただきます。

○その後、県央部に移動し、午後1時半からメガソーラー発電所を見学。まず役場で概要説明。八州高原へ。

榛東村役場/ソフトバンク榛東ソーラーパーク 群馬県榛東村大字新井790-1/榛東村上野原4

○終了後バスで帰途につきます。道路事情にもよりますが、6時をメドに東京駅、東洋経済ビルまで戻ります。

なお、帰途に途中下車はできませんので、あらかじめご了承ください。

*見学日程 7:45 東洋経済ビル正面玄関集合 → 8:00 出発 → (首都高速、上信越自動車道・富岡IC) → 10:30 史跡富岡製糸場 → 11:40 同出発 → 下仁田こんにゃく観光センターで昼食 → 12:30 同地出発 → 13:30 榛東村役場 → (ソーラーパークへ移動、見学) → 15:10 同地出発 → (上信越道を経て首都高速) → 17:45 東京駅八重洲北口 → 18:00 東洋経済ビル到着

*参加費 会員 6,500円(大型バス貸切代、高速道路代、昼食代、入場料、旅行保険料、その他)

恐れ入りますが、当初、会員様40名限定の募集になります。

社団法人 経済俱楽部

tel 03-3270-0681 fax 03-3270-0987 e-mail keizaiclub@nifty.com